

優しく強い子に!



http://www.minamih.net/
19・2・10(日)
南NEWS no 129

南 Jr ユースのみなさんへ

小丸コーチのレポートを読んでいて、どんなめあてで試合に臨んだのかな、前半・後半、それぞれの試合の様相はどうだったのかなという想いが浮かんできました。

中学校生活、学習・部活に取り組みながら、南の活動でも GAMB A っているみなさんの姿が嬉しいです。学校の仲間・部活の仲間・南の Jr ユースの仲間、3つの仲間を持つみんなはある意味、幸せ者です。

3月16日(土)は南 Jr ユースの卒業式。矢上も遠征先から駆けつけます。3年間の GAMB A りに敬意を表し、贈る言葉を述べさせていただきます

この NEWS に孫崎さん著書からの言葉を載せませう。しっかりと読んでほしいです。

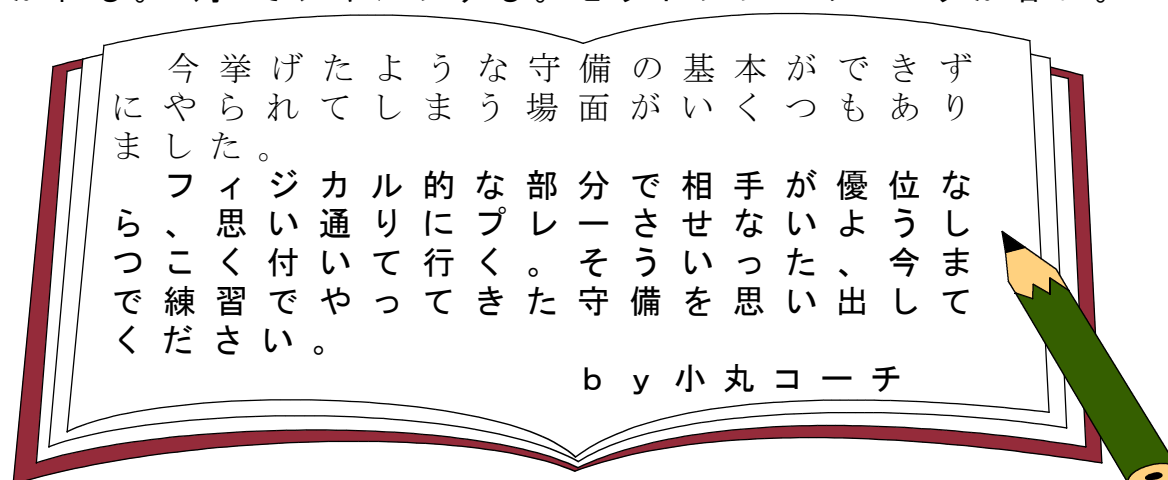
南八王子 SC 代表 矢上健一

Jr ユース 三多摩リーグ 1月27日 文化大 G

● 南八王子 U13 3-12 サルヴァトーレ U13
自分がどうプレーしたいのか、味方にどうプレーして欲しいのか、などコミュニケーションの大切さが改めて感じられた試合だったと思います。

相手の1タッチ2タッチで連動してくる攻撃やチャレンジアンドカバーの徹底された守備などは、試合の中で何度も確認・指示を繰り返しているからこそできるプレーです。大いに反省した上で、次に活かしてください。

● 南八王子 U14 1-3 サルヴァトーレ U14
守備の緩さが目立ちました。前からのプレスでコースが絞れていない。中盤で簡単に前を向かれる。1対1でジャンプする。セットプレーのマークが甘い。



今挙げたような守備の基本ができずにやられてしまう場面がいくつもありました。フィジカル的な部分で相手が優位なら、思い通りにプレーさせないようしつこく付いて行く。そういった、今まで練習でやってきた守備を思い出してください。

by 小丸コーチ

『日本を疑う ニュースの論点』孫崎 享(元外務省国際情報局長)著

角川学芸出版

おわりに 1 p 191~195
一昨年に行われた内閣府の世論調査によれば、「今の生活に満足してる」人の割合が最も高いのが20代なのだという。その割合は75%に及ぶ、つまり、4人に3人の若者が生活に満足している。

私が外務省に入省したのは1966年である。……
外務省に入った私たちは、「体制」側のパスポートを手にしたばかりだった。だが、「怒れる若者たち」(Angry Young Men)としての矜持も同時に持ち合わせていた。あの頃、日本に溢れていた「怒れる若者たち」は、いったいどこに行ってしまったのか。確かに時代は変わった。しかし現在でも……いや今だからこそ、若者達が怒るべきテーマはたくさんあるはずだ。

政府は今、原発の再稼働に向けて着々と準備を進めている。福島であれほどの事故を経験したにもかかわらず、原因究明すら十分になされないままで「再稼働ありき」の方針が一人歩きする。

TPP交渉への参加も決まった。ISD条項によって日本の主権は侵害され、世界に誇る国民皆保険制度も実質的に崩壊していくだろう。貧富の差によって受けられる医療が違い、平均寿命までも所得水準に影響を受ける。そうした米国の社会を日本が後追いをすることになってしまう。 中略

未来予測 Prediction of Future

私自身に残された時間はそう長くない。原発問題にしる、国防軍の創設にしる、また憲法改正?にしても、すべて大きな影響を受けるのは若い人たちのなかである。自分たちの人生が、政府によって狂わされてしまうかもしれない。だが、若者たちの危機感あまりにも薄い。

もう一度、悲惨な原発事故が起きて自らが被害にあったり、必要な医療が実際に受けられなくなったりしない限り、我が事としては考えられないのだろうか。そのとき初めて危機が存在したことに気づいても、もはや手遅れである。

未来予測とは、目に見えるものではない。自分で考えて、初めて立ち現れる現象である。考えない人には、無縁のことであると言ってもよいであろう。そして、本書で繰り返し行ってきたように、目の前の情報を「疑う」ことがその第一歩となる。

歴史とは、現在、そして未来を理解するためのものだ。だから私たちは、過去から学ばなければならない。とりわけ若い人には、歴史に目を向け、そこから将来について考えてもらいたいと思う。

価値観や関心を共有する身近な人たちだけと付き合い、ツイッターやフェイスブックで日々の生活について語り合う。そんな生活を送っていれば、とりあえず居心地は良いかもしれない。誰かとぶつかり、傷つくこともなく、今の生活も悪くないと感じても当然だ。

だが、その居心地の良さは、私たちの先人が作ってくれた環境のおかげなのである。しかし、社会や政治に関心を持たず、自らの努力を怠っていれば、居心地の良い環境は砂のように私たちの手のひらから崩れ落ちていってしまうだろう。

問題発言でよく響感を買っている日本の保守政治家が「新聞や本を読まない若者達は我が党の支持者になっている」と言っています。

そんな時、矢上は孫崎氏の著書をウンウンとうなずきながら読みました。2013年7月の著作で少し古いですが、読んでみませんか。美辞麗句・虚言に騙されないためにも。



